

州

名前

問1 世界の農産物の統計において、生産量の国別割合がアメリカ合衆国（31.4%）、中国（23.9%）に次いで、ブラジルが世界第3位（8.1%）を占めている品目として正しいものはどれですか。（2016年 大阪府公立入試 類似）

1. 綿花 2. 小麦 3. 米 4. トウモロコシ

問2 オーストラリアの農業統計では、農業従事者1人あたりの農地面積が他の国々と比較して極めて広がっています。このような特色が生まれる背景として、最も適切な説明はどれですか。(2017年 徳島県公立入試 類似)

1. 熱帯雨林の保護を目的として、政府によって1人あたりの農地面積が厳格に制限されているから。
2. 山がちな地形で平地が少ないため、傾斜地を利用した小規模な家族経営が主流となっているから。
3. 限られた国土を有効活用するため、多くの労働力を投入して単位面積あたりの収穫量を高める集約的な農業を行っているから。
4. 広大な国土に対して労働力が少ないため、機械化を進め、1人あたりが管理する面積を広げる大規模経営を行っているから。

問3 オーストラリア大陸西部の内陸に位置する都市、カルグーリーの気候の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)

1. 北半球に位置するため1月頃に気温が最も低く、季節風の影響で夏に多くの降水が見られる内陸性気候である。
2. 南半球に位置するため1月頃に気温が最も高く、年間を通じて降水量は少ないが、冬にあたる6月～8月にわずかに降水量が増える。
3. 南半球に位置するため7月頃に気温が最も高く、年間を通じて降水量は平均的であり、特に1月前後の夏に雨が多くなる。
4. 赤道付近に位置するため一年中気温が高く、スコールと呼ばれる激しい雨が降るため、年間降水量が2000mmを超える。

問4 南アメリカ大陸のエクアドルにある都市キトと、ブラジルの都市マナオスは、ともに赤道のすぐ近くに位置しています。しかし、キトの年平均気温はマナオスに比べて10℃以上低くなっています。キトの気温が低くなる主な理由として最も適切なものを、次の選択肢から一つ選びなさい。

。（2022年 青森県公立入試 類似）

1. マナオスよりも高緯度に位置しているため

問5 南アメリカのアンデス高地において、じゃがいもの栽培やアルパカの放牧が盛んに行われている主な理由を、地理的な背景から説明したものと
して適切なものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)

1. 標高が高いため気温が低く、一般的な農作物の栽培が困難な厳しい自然環境であるから。
2. パンパに見られるような平坦な地形が続いており、機械化された大規模農業に適しているから。
3. アマゾン川の氾濫によって運ばれる肥沃な土壌が、高地まで堆積しているから。
4. 赤道直下の低地であり、一年中高温多湿で降水量が極めて多い気候であるから。

問6 南アメリカの熱帯雨林地域などで伝統的に行われている農業では、森林を伐採して火を放ち、その後に残った「灰」をどのように利用しているか。また、その農業において数年ごとに耕作地を移動する理由として最も適切な説明を次から選びなさい。（2023年 栃木県公立入試 類似）

1. 灰は家畜の飼料として利用されるが、家畜がその土地の草を食べ尽くすと水源のあるオアシスへ移動する。
2. 灰を土壌改良剤として利用するが、大規模な機械を導入するために広大な平坦地を求めて移動する。
3. 灰を肥料として利用するが、収穫を繰り返すと土地がやせて作物が育たなくなるため、新たな土地へ移動する。
4. 灰は害虫を駆除するために利用されるが、周辺の森林資源を使い果たすと次の場所へ移動する。

問7 南アメリカ大陸の北部を横切る赤道と、オーストラリア付近を通る特定の経線が交わる地点は、ブラジル北西部の内陸付近に位置しています。この赤道直下の地域で見られる地理的な特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。(2017年 静岡県公立入試 類似)

1. アンデス山脈のふもとに位置し、パンパと呼ばれる広大な温帯草原が広がっている。
2. 寒流の影響を強く受けるため、赤道付近であっても年間を通して降水量が極めて少ない。
3. 標高が高いため一年中涼しく、インカ帝国の遺跡が残る高山都市が発展している。
4. 世界最大の流域面積を持つアマゾン川が流れ、広大な熱帯雨林が形成されている。

問8 南半球の西側に位置し、日本から見て地球のほぼ反対側にあたる大陸の自然環境について述べたものとして、正しい記述を次の中から選びなさい。(2018年 佐賀県公立入試 類似)

1. 大陸の西側にロッキー山脈が走り、中央部には広大なプレーリーが広がっている。
2. 大陸の西側にアンデス山脈が連なり、低地にはアマゾン川が流れている。
3. 大陸の北側に広大なサハラ砂漠があり、世界最長のナイル川が北に向かって流れている。
4. 大陸の東側にグレートディバイディング山脈があり、乾燥した土地が広がっている。

問9 南アメリカ大陸のアンデス山脈沿いに発展したインカ帝国と、その地域で行われてきた生活様式について述べた文として、自然環境との関わりを踏まえた記述として正しいものはどれですか。 (2021年 福島県公立入試 類似)

1. メキシコ高原の乾燥した気候を活かして、とうもろこしの栽培を基礎とした都市国家を形成し、独自の暦や文字を発達させた。
2. 熱帯雨林の広がる低地において、焼畑農業によってキャッサバなどを栽培し、移動を繰り返しながら生活する文化を築いた。
3. 季節風の影響を受ける温暖な平野部において、大規模な灌漑設備を整えることで稲作を中心とした中央集権国家を樹立した。
4. 高地特有の冷涼な気候に対応するため、じゃがいもなどの作物を栽培し、マチュピチュのような高度な石造りの都市を建設した。

問10 農業統計において、農林水産業に従事する人の割合が約1.5%と非常に低いのにに対し、従事者1人あたりの農地面積が160ヘクタールを超えて突出して広い数値を示す国があります。このような、広大な国土を背景に少ない労働力で大規模な生産を行う農業のあり方を何と呼びますか。

- (2017年 徳島県公立入試 類似)
1. 施設園芸農業 2. 集約的農業 3. 粗放的農業 4. 自給的農業

問11 アマゾン川流域に見られる熱帯の気候環境について、その自然景観や背景を説明したものとして最も適切な記述を選びなさい。(2024年
奈良県公立入試 類似)

1. 夏の間だけ地表の氷が解け、コケ類が生育するような極めて気温の低い環境となっている。
2. 年間降水量が1200mm程度と比較的少なく、オリーブやブドウなどの耐乾性作物の栽培に適している。
3. 一年中気温が高く雨が多いため、「セルバ」と呼ばれる広大な密林（熱帯雨林）が形成されている。
4. 雨の多い時期と少ない時期がはっきりしているため、丈の長い草が広がる草原地帯となっている。

問12 南アメリカ大陸の南東部、現在のアルゼンチン中部に位置する広大な草原地帯について、その名称と主な産業の組み合わせとして正しいものを選択してください。（2022年 新潟県公立入試 類似）

1. パンパー 肥沃な土壌を活かした大規模な小麦栽培や牛の放牧

答え合わせ・解説

問1	答え 4 トウモロコシ	アメリカ合衆国と中国が生産量の約半分を占め、ブラジルがそれに次ぐ上位にある統計はトウモロコシの特徴です。ブラジルは広大な国土を活かした大規模農業が盛んで、コーヒー豆だけでなくトウモロコシや大豆の生産でも世界有数のシェアを誇っています。これらの穀物は輸出だけでなく、ブラジル国内で盛んな畜産業の飼料としても重要な役割を果たしています。
問2	答え 4 広大な国土に対して労働力が少ないため、機械化を進め、1人あたりが管理する面積を広げる大規模経営を行っているから。	オーストラリアは世界有数の広い国土を持っていますが、人口密度は低く農業に従事する人数も限られています。そのため、大型機械や飛行機による種まき・農薬散布などを導入することで、少ない人数で広大な農地を管理する大規模経営が成立しています。この統計的な数字は、土地を広く使う「粗放的」な生産体制を裏付けるものです。
問3	答え 2 南半球に位置するため1月頃に気温が最も高く、年間を通じて降水量は少ないが、冬にあたる6月～8月にわずかに降水量が増える。	オーストラリアは南半球にあるため、日本などの北半球とは季節が逆になります。そのため、1月や12月に気温が高く、7月頃に気温が低くなるのが特徴です。カルグーリーは内陸部に位置しているため、年間降水量は各月50mm未満と非常に少ない乾燥した気候ですが、統計上は冬（6月～8月）にわずかな降水量の増加が見られます。これは、地中海性気候の影響をわずかに受けているためです。
問4	答え 3 アンデス山脈の中にあり、標高が高いため	一般的に気温は標高が100m高くなるごとに約0.6℃下がります。マナオスはアマゾン川流域の低地に位置しますが、キトは標高2800mを超える高地に位置しているため、赤道直下であっても一年中涼しい「常春」のような気候となります。同じ赤道付近にあるため緯度の違いは理由にならず、山岳都市であるキトの気温差の主たる要因は海流ではありません。
問5	答え 1 標高が高いため気温が低く、一般的な農作物の栽培が困難な厳しい自然環境であるから。	アンデス山脈沿いの地域は高度が高いため、低地と比較して気温が著しく低くなります。この冷涼な気候では、温暖な地域を好む作物の栽培が難しいため、高地の環境に適したじゃがいもが主食として育てられてきました。同様に、家畜についても厳しい寒さに耐えられるアルパカなどが選ばれており、これらは地形や気候といった自然条件に合わせた、持続可能な生活の知恵といえます。
問6	答え 3 灰を肥料として利用するが、収穫を繰り返すと土地がやせて作物が育たなくなるため、新たな土地へ移動する。	焼畑農業は、木々を焼いて生じた灰を天然の肥料として活用する伝統的な農法です。化学肥料を使用しないため、数年間の栽培によって土壌の栄養分が消費され、土地がやせてしまいます。そのため、収穫ができなくなると別の場所へ移動し、元の土地は森林が再生するまで放置するというサイクルを繰り返します。選択肢にある「プランテーション」は輸出用作物の大規模栽培を指し、「オアシス農業」は乾燥帯で行われる農業のため、混同しないよう注意が必要です。
問7	答え 4 世界最大の流域面積を持つアマゾン川が流れ、広大な熱帯雨林が形成されている。	南アメリカ大陸の北部には赤道が通っており、特にブラジル北西部の低地はアマゾン川の流域にあたります。この地域は赤道直下のため一年中気温が高く、上昇気流によって多量の雨が降る熱帯雨林気候となっており、「セルバ」と呼ばれる広大な熱帯雨林が広がっています。パンパはアルゼンチンなどの大陸南部に位置する温帯草原であり、インカ帝国の遺跡などは主にアンデス山脈の高地に見られる特徴です。
問8	答え 2 大陸の西側にアンデス山脈が連なり、低地にはアマゾン川が流れている。	問題文が指しているのは南アメリカ大陸です。この大陸は環太平洋造山帯の一部である険しいアンデス山脈が西側に位置しており、そこから東側の低地に向かってアマゾン川などの河川が流れています。他の選択肢は、それぞれオーストラリア大陸、アフリカ大陸、北アメリカ大陸の特徴を述べたものです。
問9	答え 4 高地特有の冷涼な気候に対応するため、じゃがいもなどの作物を栽培し、マチュピチュのような高度な石造りの都市を建設した。	アンデス山脈のような標高の高い地域では、気温が低く酸素も薄いため、平地とは異なる生活の工夫が必要でした。インカ帝国の人々は、斜面に段々畑を作って冷涼な気候に強いじゃがいもを栽培し、車輪や鉄器を使わずに巨大な石を精密に組み上げる高度な建築技術を持っていました。これに対して、メキシコ高原で発展したのはアステカ文明であり、地域背景が異なります。
問10	答え 3 粗放的農業	オーストラリアでは、広大な土地に対して労働力が不足しているため、機械や航空機などを活用して大規模な経営が行われています。単位面積あたりの手間や肥料の投入を抑えつつ、広い面積で効率よく生産するスタイルは「粗放的」と呼ばれ、日本のような限られた土地に多くの資本や手間をかける「集約的」な農業とは対照的な特徴を持っています。
問11	答え 3 一年中気温が高く雨が多いため、「セルバ」と呼ばれる広大な密林（熱帯雨林）が形成されている。	アマゾン川流域の熱帯雨林気候区では、年間を通じて高温多湿な環境が続くため、多様な樹木が密生するジャングルが発達します。これをブラジルでは「セルバ」と呼び、世界最大の熱帯雨林を形成しています。他の選択肢にあるサバナ（草原）や地中海性気候の作物は、降水量の分布や気温の条件が異なるため不適切です。
問12	答え 1 パンパ — 肥沃な土壌を活かした大規模な小麦栽培や牛の放牧	アルゼンチン中部に広がるパンパは、温帯の湿潤な気候と肥沃な土壌に恵まれた広大な草原地帯です。この自然環境を背景に、世界有数の農業・牧畜地帯となっており、特に東部の湿潤パンパでは小麦の栽培、西部から中央部にかけては牛の放牧が盛んに行われています。カカオの生産はより低緯度の熱帯地域で見られる特徴であり、パンパの産業とは異なります。